国産の経口治療薬開発に向けた都の協力

- オミクロン株の感染急拡大に対して、重症患者を減らし医療体制を確保するためには、 迅速かつ安定的な経口治療薬の供給が必須
- 先行海外企業に加え、**国内企業**(塩野義製薬)でも、治験を進めつつ、**すでに生産開始**



都は、宿泊療養施設や都立公社病院での治験協力により、国内承認のスピードを加速

- ・宿泊療養施設 現在1施設で実施中 ⇒ 複数施設へと拡大
- ・都立公社病院においても実施
- ・東京iCDC等の専門家による助言、治験事務効率化でも協力

【治験の協力スキーム】

- ①協力医療機関で治験を案内
 - ⇒治験希望者には治験実施ホテルを調整



都が 協力

治験例数の大幅拡大

② 患者入所時に、治験を紹介。治験医師による オンラインの説明・患者同意⇒治験開始

治験医師によるオンライン診療



- ③治験看護師による
 - 検体採取
 - 検体処理

治験事務員(CRC)により

- ・データ入力
- ・検体保管・検体送付



事務処理を迅速化・効率化

(参考)国内企業の新型コロナ経口治療薬について

(塩野義製薬HPより作成)

	塩野義製薬社(薬の名称は未定)
治験・開発状況	・2/3相治験を実施中 ・生産開始済(2月にも生産、3月末で100万人分を生産予定)
治験の対象者	・12歳以上で重症度が無症状から中等症 I
服用方法	・ 1日1回、 5日間投与 ・比較的小さめの錠剤
効果	・第2/3相のPhase 2a partで、抗ウイルス効果を確認 ・既存薬同等もしくは以上の効果を期待